

自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 21, No. 1 神奈川県立生命の星・地球博物館 Jun., 2015



黄金色のヒラメ

Paralichthys olivaceus
(Temminck & Schlegel, 1846)
黄化個体
KPM-NR 159299A
標準体長 610 mm

いわさきたけろう
岩崎猛朗

(新江ノ島水族館

展示飼育部 魚類チーム)

珍しいヒラメの黄化個体が見つかりましたので紹介します。

本個体は2015年3月14日に小田原市国府津沖のヒラメ刺網で漁獲され、小田原魚市場に持ち込まれました。漁師や市場関係者の間でも見たことがないと話題になり、生きたまま新江ノ島水族館に搬入、展示公開されました。

本種は、背中側が周囲の色に溶け込んだ黒や灰色が通常で、砂地や岩場などの海底に潜み、近づいてきた獲物を襲うハンターです。高級魚として養殖研究が盛んで、稀に色素異常個体が現れることが知られています。黄化個体は、

黒い色素が少ないため、相対的に黄色く見えるものと考えられます。全国レベルでの出現情報は散見されますが、相模湾ではほとんど聞いたことがありません。

本個体が天然物か養殖物かは不明です。いずれにせよ生存競争の厳しい自然界で、外敵に発見されやすい色の個体が成長できたことは、極めて稀な事例といえるでしょう。

“黄金”といっても良いくらいの体色と、全長70cmの堂々たる姿は、水族館でも話題を集めました。疾病の影響で標本を残すことはできませんでしたが、画像を記録に残しました。